

令和 6 年度

保管

第 6 学年シラバス



豊島区立巢鴨小学校

令和6年度 第6学年(国語)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	つないで、つないで、一つのお話 準備 伝わるかな、好きな食べ物続けてみよう 帰り道 公共図書館を活用しよう 漢字の形と音・意味 春のいぶき 聞いて、考えを深めよう 漢字の広場1 笑うから楽しい 時計の時間と心の時間 文の組み立て たのしみは 天地の文 情報と情報をつなげて伝えるとき デジタル機器と私たち 夏のさかり 私と本 星空を届けたい	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
二 学 期	せんねんまんねん、名づけられた葉 いちばん大事なものは インターネットでニュースを読もう 文章を推敲しよう 漢字の広場2 やまなし 漢字の広場3 熟語の成り立ち 秋の深まり みんなで楽しく過ごすために 話し言葉と書き言葉 狂言「柿山伏」を楽しもう 『鳥獣戯画』を読む 発見、日本文化のみりよく カンジー博士の漢字学習の秘伝 漢字の広場4 ぼくのブック・ウーマン おすすめパンフレットを作ろう 冬のおとずれ	
三 学 期	詩を朗読してしょうかいしよう 知ってほしい、この名言 日本の文字文化 仮名づかい 漢字の広場5 「考える」とは 使える言葉にするために 日本語の特徴 大切にしたい言葉 今、私は、ぼくは 海の命 漢字の広場6 中学校へつなげよう 生きる 人間は他の生物と何がちがうのか	
〈授業の工夫〉 ○お互いの立場や意図を明確にしながらかし合ったり、自分の考えと比較しながら聞いたりして、楽しんで表現することができるよう言語活動を工夫します。 ○テストの結果だけではなく、学習過程における児童のよい点や可能性、工夫したことや努力したこと、進歩の状況などを評価し、意欲をもたせる工夫をします。		
〈評価について〉 ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか評価します。 ○日常生活における人々との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか評価します。 ○言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか評価します。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノートや少人数での提出物、授業での発言内容、作文、発表、話し合い活動の様子などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○漢字の定着を図るために、漢字ドリルや漢字学習ノートを使います。 ○進んで読書をするために、学校図書館の本や巣鴨図書館図書ネット便を活用します。		

令和6年度 第6学年（社会）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	1 ともに生きる暮らしと政治 オリエンテーション (1) 憲法とわたしたちの暮らし (2) わたしたちの暮らしを支える政治 2 日本の歴史 オリエンテーション (1) 国づくりへの歩み (2) 大陸に学んだ国づくり (3) 武士の政治が始まる (4) 室町文化と力をつける人々	【知識及び技能】 ○我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
二 学 期	(5) 全国統一への動き (6) 幕府の政治と人々の暮らし (7) 新しい文化と学問 (8) 明治の新しい国づくり (9) 近代国家を目指して (10) 戦争と人々の暮らし (11) 平和で豊かな暮らしを目指して	【思考力、判断力、表現力等】 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
三 学 期	3 世界の中の日本 オリエンテーション (1) 日本とつながりの深い国々 (2) 地球規模の課題の解決と国際協力	【学びに向かう力、人間性等】 ○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

〈授業の工夫〉

○見学や調査、ICT や図書資料を活用して問題を解決する調べ学習を行い、調べたことを表現する場面を作っていきます。

○日常生活と政治の動きの関係を理解するために、身近な公共施設を調べる学習活動を展開します。

〈評価について〉

○单元ごとのテストやワークシートなどをもとに、我が国の政治の考え方や仕組みや社会の発展に大きな働きをした先人の業績を踏まえて、大まかな歴史を理解しているかを評価します。

○発言や話し合い活動で考えたことや選択・判断したことを説明したり、議論したりする力を評価します。

○ノートやワークシートの記述から社会的事情について主体的に学習の問題を解決しようとする態度を評価します。

〈学習方法など〉

○テレビや新聞で、政治や歴史、他の国々についての情報に関心がもてるような働きかけをします。

○知識を記憶するのではなく、歴史の事象の原因や理由を自分で考えることができるようにします。

○調べ学習、インターネットの利用などから情報を得る活動を通して、国際社会における日本の役割について考えられるようにします。

令和6年度 第6学年(算数)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	※学びのとびら 1. つり合いのとれた図形を調べよう 2. 数量やその関係を式に表そう 3. 分数をかける計算を考えよう 4. 分数でわる計算を考えよう ※分数の倍 ※どんな計算になるのかな？ 5. 割合の表し方を調べよう ※算数で読みとこう	【知識及び技能】 ○ 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
二 学 期	6. 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう 7. データの特ちょうを調べて判断しよう 8. 円の面積の求め方を考えよ 9. 角柱と円柱の体積の求め方を考えよ 10. およその面積と体積を求めよう⑥ ※考える力をのばそう 11. 比例の関係をくわしく調べよう 12. 順序よく整理して調べよう ※考える力をのばそう ※算数で読みとこう	【思考力・判断力・表現力等】 ○ 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。
三 学 期	※データを使って生活を見なおそう 13. 算数の学習をしあげよう ※算数卒業旅行	【学びに向かう力・人間性等】 ○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○ 技能の習熟や維持を図るために適宜練習の機会を設けて、計画的に指導します。 ○ 事象の観察とともに既習事項との関連を意識させ算数の学習場面から問題を見だし、問題解決の思考対象を明確にして主体的に解決を図れるようにします。 ○ 図や式などを活用して問題解決の過程やその結果を分かりやすく表現し、ノートを見合ったり他者と考えを伝え合ったりしながらよりよいものを求めて粘り強く考えられるようにします。		
〈評価について〉 ○ 基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、小学校での算数の学習で身に付けた技能を生かしながら、適切な数理的な処理や表現ができ、発展的な場面においても活用可能な技能になっているか評価します。 ○ 「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりしているか評価します。 ○ 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しているか、問題解決の結果を常に評価・改善し続けようとしているか評価します。 以上のことを単元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、分度器の使い方などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○ 算数の学習内容の定着を図るために、既習内容の復習プリントを継続的に取り組みます。 ○ 計算処理の確実な定着を図るために、ドリル学習やプリント学習を繰り返し行い、多くの問題に触れることができるようにします。 ○ 個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果を基に習熟度別少人数指導を実施します。		

令和6年度 第6学年(理科)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	ものの燃え方 私たちの生活と環境 植物の体のつくりとはたらき 1 人やほかの動物の体のつくりとはたらき 植物の体のつくりとはたらき 2 生物と地球環境 自由研究	【知識及び技能】 物質・エネルギー ○燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 物質・エネルギー ○燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、主にそれらの働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 物質・エネルギー ○燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。
二 学 期	月と太陽 水よう液の性質 土地のつくりと変化 てこのはたらき	
三 学 期	私たちの生活と電気 かけがえのない地球環境	
<授業の工夫> ○理科における資質・能力を育むために主体的に活動することができるようにします。 ○単に実験の結果を覚えるだけの活動とならないよう、子供が主体的、協働的、対話的になる学習過程として、①問題の見だし②見通しの発想③解決方法の発想④結果の整理⑤考察と道筋に沿って学習を進めます。 ○「違いを見付ける」「既習事項と関係付ける」「問題や見通しと、結果の一致、不一致を判断する」といった学びの『すべ』を獲得していくことができるよう、問題解決の過程を適切に指導します。 ○指導内容に応じて、タブレットや視聴覚機器を活用して指導します。		
<評価について> ○单元ごとの評価テストと合わせて、ノート記述や観察シート、実験レポート、実験計画書などをもとに評価します。 ○条件を制御しながら調べる活動を通して、予想や仮説を基に、解決方法を発想し、表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価します。また、安全面に配慮して取り組んでいるかも評価します。		
<学習方法など> ○学習の成果と日常生活との関連を図り、自然の事物・現象について実感を伴って理解できるようにします。 ○テレビや新聞などで流れる自然や環境についての情報に関心をもたせ、自然環境を大切に、保全に寄与しようとする態度を育成します。そのために、環境などに関する催し物や科学館などについても紹介します。 ○タブレットを活用し、視覚的に学んでいきます。		

令和6年度 第6学年（音楽）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	○歌声をひびかせて心をつなげよう ペガサス おぼろ月夜 ○いろいろな音のひびきを味わおう 木星 ラバースコンチェルト ボイスアンサンブル	【知識及び技能】 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲の演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
二 学 期	○和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう 星の世界 雨のうた 「雨のうた」の和音で旋律づくり ○曲想の変化を楽しもう 思い出のメロディー ハンガリー舞曲 第5番 ○詩と音楽との関わりを味わおう 花 箱根八里 荒城の月 ふるさと われは海の子	
三 学 期	○日本や世界の音楽に親しもう 越天楽今様 雅楽「越天楽」 世界の国々の音楽 ○音楽で思いを伝えよう きっと届ける メヌエット 街にだかれて 卒業式の曲	

〈授業の工夫〉

- 自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。
- 様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。
- 友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を主体的に伝え合う場を多く設定します。

〈評価について〉

- 題材の表現や技能だけでなく、主体的に音楽活動に取り組んでいるかを評価します。
- 音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を、学習カードや音楽活動を通して評価します。
- 友達との音楽活動を楽しみながら主体的に取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価します。

〈学習方法など〉

- ねらいと振り返りの連動による学びの探求ができるように学習内容を工夫します。
- 考えを広げ深める場を設定し、友達と協働しながらよりよい表現ができるような活動方法を工夫します。

令和6年度 第6学年(図工)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	1まいの板から 「わたしはデザイナー 自分の力で」 切り紙アート(12折) <土曜公開> 灯ろう(土器) メタリックアート(灯ろうの敷物)	【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。材料や用具を活用し、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ○形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
二 学 期	プッシュステンド(発展) アルミ缶フラワーアート ワ이어アート(メモスタンド作り) <ものづくり授業> 展覧会・鑑賞 ラビーゴム版画(発展)	
三 学 期	名前deアート プラスチック工作(発展) コマコマアニメーション	

〈授業の工夫〉

- 主体的・意欲的に造形活動に取り組めるように、毎時間「めあて」を示し、見通しがもてるようにします。
- クラスルームに事前に、製作途中の作品手本(製作過程)を投稿し、見通しをもって発想を広げられるようにします。
- 各学年の発達段階に応じて、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。

〈評価について〉

- 一人一人の活動の様子や作品の製作過程から、本人の思いや創意工夫を見ていきます。
- 一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、「鑑賞の時間」と「振り返り」の時間を設定し、記述内容を評価します。

〈学習方法など〉

- 児童の作品を定期的に廊下へ掲示し、友達の作品のよさを学び合える環境作りをしていきます。
- 完成前(製作途中)の様子をデータで閲覧できるようにして「可視化」することで、児童が見通しをもって製作できるようにします。
- 12月の展覧会では、児童が取り組んできた作品を保護者や地域の方に公開します。

令和6年度 第6学年(家庭)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	1.生活時間をマネジメント (1)どのように時間を使っているのだろう (2)時間の使い方に課題はないだろうか (3)生活時間を工夫しよう 2.できることを増やしてクッキング (1)「ゆでる」と「いためる」はどうちがうのだろう (2)いためておかずを作ろう (3)朝食に生かそう 3.グリーン大作戦 (1)なぜそうじをするのだろう (2)知ってるかな、そうじの仕方 (3)身の回りを快適にしよう 4.すずしく快適に過ごす住まい方 (1)暑い日はどのように過ごしているだろう (2)すずしく快適な住まい方を知ろう (3)エコ生活ですずしさアップを工夫しよう 5.すずしく快適に過ごす着方と手入れ (1)どのような着方がすずしいだろう (2)暑い季節を快適にしよう (3)快適な衣生活を工夫しよう	【知識及び技能】 ○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。
二 学 期	6.生活を豊かに ソーイング (1)どのようなふくろを、どのように使っているだろう (2)目的に合ったふくろを作ろう (3)作ったふくろで生活を豊かに 7.こんだてを工夫して (1)どのような料理や食品を組み合わせるとよいだろう (2)1食分のこんだてを立てよう (3)工夫して毎日の食生活に生かそう	
三 学 期	8.共に生きる地域での生活 (1)地域の人びととの関わりを見つめよう (2)地域でできることは何だろう (3)やってみよう・ふり返ろう 9.持続可能な社会を生きる (1)生活と環境のつながりを考えよう (2)物やエネルギーをどう使うか (3)環境のことを考えた生活を続けよう 2年間の学習をふり返って、中学校の学習に生かそう	
〈授業の工夫〉 ○実践的・体験的な学習活動を取り入れ、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身に付けていきます。 ○学校生活だけではなく、家庭生活においても学習したことを生かし、よりよい生活にするための工夫ができるよう、学習内容を広げていきます。		
〈評価について〉 ○家族や家庭、衣食住、消費や環境など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能については、单元ごとのワークシートやテスト、実習や作品で評価します。 ○日常生活の中から課題や解決方法を考え、実践し、生活をよりよくしていこうとする思考・判断力・表現力等は、授業中の発言内容やワークシート、テストで評価します。 ○家庭生活などの大切さに気付き、家族や地域の一員として生活をよりよくしようとする学びに向かう力や人間性等は、授業中の発言内容や制作、実習時の態度、普段の学習の様子で評価します。		
〈学習方法など〉 ○学習したことを家庭で生かしたり、調理や掃除などを家庭学習で取り組ませたりして、進んで家庭の仕事をすることの育成をめざしていきます。		

令和6年度 第6学年（体育）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	陸上運動（短距離走・リレー） 体づくり運動 運動会に向けて（表現運動） 体力テスト マット運動 水泳の安全について・水泳運動 保健 病気の予防	【知識及び技能】 ○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
二 学 期	陸上運動（ハードル走） ネット型（ソフトバレーボール） 鉄棒運動 陸上運動（走り幅跳び） 跳び箱運動 ベースボール型（ティーボール） 保健 病気の予防 体づくり運動（持久走）	【学びに向かう力・人間性等】 ○各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。
三 学 期	陸上運動（走り高跳び） ゴール型（バスケットボール） 体づくり運動（短なわ跳び） ゴール型（サッカー）	
〈授業の工夫〉 ○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行います。 ○自分に適した課題をもつと同時に、友達と協力して課題解決に取り組めるような場面を設定し、共に学び合う授業づくりをします。 ○勝敗や競争（走）を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の向上や体力の高まりが感じられるようにします。		
〈評価について〉 ○運動技能や知識についての評価のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○学習カードを用いて、自分の学習を振り返ったり、課題を見付けたりするような自己評価、友達同士の相互評価を行います。 ○約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりする様子も観察し、評価します。		
〈学習方法など〉 ○なわ跳び月間、マラソン月間を設け、体力づくりを行います。 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT 機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった練習方法や練習の場を選択することで課題解決に取り組みます。また、動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和6年度 第6学年(外国語)年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	Let's Start 6年生の学習準備 Unit1 This is me! 名前や好きのもの・こと、誕生日などを伝え合う。 Unit2 Welcome to Japan. 外国の人に興味をもってもらうために、日本の行事を紹介する。 言葉について考えよう! 英語になった日本語について考える。 Unit3 What time do you get up? お互いのことをよく知るために、普段の生活について尋ね合う。 世界の友達! You can do it!!	【知識及び技能】 ○外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
二 学 期	Unit4 Summer Vacation 夏休みの思い出を伝え合うために、絵日記を書くことができる。 Unit5 We live together. 動物の気持ちを伝えるために、ポスターを書くことができる。 言葉について考えよう! 英語の文の組み立てについて考えよう。 Unit6 I want to go to Italy. 世界の国々の魅力を伝えるために、旅行会社の人になって紹介することができる。 世界の友達① You can do it!2	【思考力、判断力、表現力等】 ○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
三 学 期	Unit7 My Dream 自分の将来について考えるために「夢宣言」をすることができる。 言葉について考えよう3 心に届くスピーチについて考えよう。 Unit7 My Best Memory 思い出を共有するために、学校行事のできごとや感想を発表することができる。 世界の友達3 You can do it!3 英語の物語 既習の語句や表現を見ついたり、挿絵を手掛かりにして内容を推測したりする。	【学びに向かう力、人間性等】 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

〈授業の工夫〉

- 音声でのコミュニケーションに使う英語表現に慣れ親しむことで目的や場面、状況に応じた英語表現を活用できる児童の育成をめざします。
- 外国語専科と英語指導アシスタントが協力し、主に児童のコミュニケーション能力の育成をめざします。
- ICTを活用し、発表スライドを作成したり、画像を提示して伝えたりすることができる児童の育成をめざします。
- ICTを活用し、音声教材を聞いたり、繰り返し練習したりする活動を効果的に取り入れます。

〈評価について〉

- 活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうとしているか、またコミュニケーションを通して自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができているか、正しいアルファベットを使って書くことができているかなどを評価します。

〈学習方法など〉

- 外国語活動では、積極的に発話することや読むこと、書くことで、実践的なコミュニケーション能力が養われます。学習した英単語や簡単な英語表現を、生活の中で活用する機会を多く設けます。

令和6年度 第6学年（特別の教科 道徳）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	個性の伸長 よりよく生きる喜び 希望と勇気、努力と強い意志 節度、節制 よりよい学校生活、集団生活の充実 公正、公平、社会正義 相互理解、寛容 友情、信頼 親切、思いやり 自然愛護 生命の尊さ	（「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」） 第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
二 学 期	規則の尊重 善悪の判断、自律、自由と責任 正直、誠実 相互理解、寛容 友情、信頼 よりよい学校生活、集団生活の充実 規則の尊重 礼儀 感謝 親切、思いやり 感動、畏敬の念 生命の尊さ 希望と勇気、努力と強い意志 国際理解、国際親善 公正、公平、社会正義	【第5学年及び第6学年重点目標】 ○相手の考え方や立場を理解して支え合い 集団生活の充実に努めること ○自律的に判断し、責任のある行動をすること ○誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接すること 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。
三 学 期	真理の探究 善悪の判断、自律、自由と責任 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 家族愛、家庭生活の充実 生命の尊さ 勤労、公共の精神 感謝 よりよく生きる喜び	学習指導要領に示された内容項目（第5・6学年）は、それぞれの学年において網羅されています。

〈授業の工夫〉

○道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合っ
て考えることを通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを大切にします。

〈評価について〉

○道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、
自己の生き方について考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発
言や話合いの様子、道徳ノートへの記述を基に肯定的評価をします。

〈学習方法など〉

○ワークシートやオクリンクを使って学習します。

学習の流れ

①教材文の状況を把握する。②登場人物の思いを共通理解する。③授業の中心で考えさせたいこと（場
面）について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。

令和6年度 第6学年（総合的な学習の時間）年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
一 学 期	＜日光の自然と文化＞ 日光の自然や文化について知り、自然や文化を大切にするためにできることを考える。"	【知識及び技能】 ○自分の生活や身近な地域に関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
二 学 期	＜豊島区のよさを発信しよう～漫画・アニメ～＞ 日本と豊島区の伝統・文化について調べ、日本のよさや自分たちの考えを伝える。	【思考力・判断力・表現力等】 ○自分の生活や身近な地域の中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ、表現する力を身に付ける。
三 学 期	＜思いを伝える権利を大切にしよう＞ 自分の将来や友達、家族について考えたことを発表する。	【学びに向かう力・人間性等】 ○自分の生活や身近な地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
＜授業の工夫＞ ○学習を振り返ったり、深めたり、広げたりすることができるように、個別学習だけではなく、グループ学習の場を設定します。 ○ICTを活用して調べ学習を行ったり、発表したりします。		
＜評価について＞ ○テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・絵などの製作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 ○通知表には、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
＜学習方法など＞ ○以下の探究的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。（自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど。） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		

